

わが市わが町 湯河原町

「湯河原梅林について」

神奈川県西南端、東京から約90kmで伊豆の玄関口に位置する湯河原町は、三方を箱根伊豆の山々に囲まれ、南東は相模湾にのぞんでおり、海、山、川などの恵まれた自然環境や歴史文化の香り漂うまち並など多彩な表情を持つ風光明媚な観光のまちです。湧き出る温泉は大変上品な泉質なうえ効能にも優れているため、遠く万葉の時代から湯治場として栄え、明治以降には文人墨客の静養地として発展してきました。そんな湯河原町は森林面積が3,042haあり、町の総面積の74%を占めています。森林には森林浴と景観をたのしめる遊歩道やハイキングコースがあり、その中でも「幕山」は四季折々の草花が咲き、また山頂からの展望を楽しみながら大自然の中で1日を楽しむことができます。1年を通して多くのハイカーが訪れます。また「幕山」には、標高626mの岸壁を取り囲むように山の斜面上に梅が植樹されている「湯河原梅林」があります。

湯河原梅林では毎年、2月上旬から3月中旬にて幕山のふもとに

ある幕山公園を会場に湯河原梅林「梅の宴」を開催しています。

「梅の宴」では、芸妓の舞や狂言、和太鼓の演奏などのイベントから酒蒸し饅頭や湯河原産の柑橘類など地場産品や特産品の販売を行います。



芸妓の舞

山の斜面上に梅が植樹されているため、平地の梅を見るのと異なり、下から見上げることも、上から見下ろすこともできるため少し違った視点で梅林散策を楽しむことができます。

また、9haの面積に紅千鳥・淡路枝垂・藤牡丹・楊貴妃など28種類4000本の紅梅・白梅が植樹されており、中には1本の木から紅梅・白梅両種が咲く「輪違い」や花の傍が緑色をしている「緑傍枝垂」という珍しい種もあります。



梅林

例年、2月中旬～3月上旬にかけて見頃を迎え、満開時には幕山の梅林最高地点から、紅梅・白梅の「梅のじゅうたん」のような様子を一面に見下ろすこともできます。見頃時期に実施しているライトアップでは露出した幕岩の岩肌を背景に昼間とはまた違った幻想的な景観をお楽しみいただけます。



梅林のライトアップ

「幕山」の山麓斜面に咲き乱れる約4000本の紅梅・白梅による「梅のじゅうたん」は絶景であり、園内は、梅の香りに包まれておりますので是非、湯河原町へ足を運んで頂き、「湯河原梅林」での梅林を目で、鼻でお楽しみ頂けたらと思います。

(湯河原町 農林水産課)